

成功した荒粉加工

市川富二

コンニャクは川西の特産

川西町コンニャク組合(町・普及所・農協・生産者が一体となって結成している。組合長は中村杜吉氏)では、このたびコンニャクの生産から種玉貯蔵・荒粉加工をして、みなさんから簡単に作って食べていただくことになりました。このため川西の特産であるコンニャクのもろを、町の各農協から実費で発売しております。

わたしがコンニャク作りをはじめたから六年、仙田ではもう十年も作っていますが、これまでほとんど生玉で販売していました。新潟県では、荒粉加工はできないものにしてきたからです。したがって荷づくりもたいへんでしたし、重くて経費や運賃も高くつきました。雪の降るまでに何とかして出荷し、相場のはげしいコンニャクを短期間に販売しなければならぬ。という困難があったわけですが、

市価の半値で食卓に

昨年の秋、コンニャクの先進地である群馬県(下仁田)に行きました。その際わたしが試作した荒粉を持参して見てもらったところ、現地の普及所長である南先生や堀口組合長・青木研究会長と一流問屋の小林専務などから、これなら本場の最高級品だ、とおりがみをつけていただきました。わたしの喜びは申すまでもなく川西町コンニャク組合の大収穫であり、目の前が急に明るくなった感じがいたし

ました。

荒粉加工をすることによって重量は軽くなり運賃は安くなり、一年生、二年生はもうろく、きす玉病玉のものまで、値の高いときにいつでも売ることができるようになったわけでありました。

荒粉加工に成功しましたので精粉にしてみました。種のよい玉から良い荒粉ができたのですから悪いわけがなく、市価の半値で、まじりもよい上等の精粉ができました。この粉から簡単にできるコンニャクを、みなさんの手でぜひ作って食べてください。

組合では技術指導も

組合では普及所や各農協と密接なつながりを持ち、生産や荒粉加工の指導をはじめとして販売のおつせんもいたしております。はじ

☆マスコミ病も受け付けます

(成人病予防週間) 二月下旬の予定 「社会診断の結果」



成人病とは

40才以上の働き盛りに多い慢性の病気でとくに死亡率の高い高血圧・ガン・心臓病のことをいいます。最近これらの病気による死亡が、国民病といわれた結核よりも高位を占めるようになってきました。

広報かわにしの編集長さんへ あなたはおききになりませんか。去年十二月の中ごろ、NHKお茶のひとときの時間で日本の長寿村を放送しました。ウツカリしてしまいましたからよく記憶していませんが、たしか奈良県某市の某部落だったかと思えます。日本一の根拠は、人口百に対して七十才以上の老人が八人の割合で住んでいる、というのです。そこでわたしの部落のことを考えてみました。原田は戸数三十四人口百九十(冬季出かせぎを含めた年末の調べです)のところ、数

めて作られる方のためには技術指導をいたします。一本でも多く作ってください。組合では完全な貯蔵庫をもち、みなさんの種玉をあずかってゆきとよい管理をしておりです。(種玉は貯蔵がたいせつで、貯蔵が悪いと八月前までダメになります。本年は保証付の種玉をはじめ、二年生や在来種を一千キロだけ、希望者から先着順にあつせんすることになっております。組合に加入を希望の方、作りかたについてくわしくお知りになりましたら、組合事務所(電話千手一五五番・有線放送三〇回線)に二

番)に問い合わせてください。一石二鳥をねらえ

生産者がバラバラではあらゆる面で不利です。加工・販売・消費の共同化によってこそ農家経済の安定が図られるのではないのでしょうか。生産が上昇すればそれだけ安くなることになり、増産することによって町の産業が発展する、という、一石二鳥になるわけです。コンニャクを川西の特産として、畑作の振興を図ってゆきましよう。(筆者は川西町コンニャク組合副組合長・町議)

長寿日本一はオラの村

七十才以上が九・五%

原田 丸山 寛治

原田の丸山寛治さん(町選挙管理委員長・元橋村長)から、珍しい一文をいただいた。お説によると、原田は日本一の長寿村だ、とのことである。戸籍係から調査してもらったらまちがいでなくなるとなるほどどうなすかされる点がなくもない。これがほんとうならまことにおめでたい話、ともあれ丸山さんの手紙を紹介してみたい。

え年七十才以上の老人が別記のとおり十八人もおります。

この比率は前記の某部落をはるかにう回るもので、これからいえば、原田は日本一の長寿村だ、といつてもさしつかえないかと存じます。もし日本一とまではゆかなくとも、珍しい長寿部落であることはたしかです。お調べの上、適当とお考えになりましたら「かわにし」にご紹介ください。わたしは今、NHKにも照会中です。(原文のまま)

◎数え年七十才以上の老人氏名
下の数字は生まれた年(明治)

- 根津徳蔵 五 丸山直松 一九
- 池竹サキ 九 丸山リク 二〇
- 根津久蔵 一〇 高橋佐藤治 二一
- 大平リト 一〇 根津カネ 二三
- 根津龍吉 一一 丸山トヲ 二三
- 丸山トモ 一四 丸山豊太郎 二三
- 大平真太郎 一六 高橋キミ 二三
- 水落トメ 一六 丸山林平 二四
- 丸山寛治 一七 根津寅吉 二四

災害通信：②

昨年七月災害の国庫補助事業に該当した地区(復旧事業施行)上村常助ほか五十九地区)は、特別立法の恩典によって一率に九割補助の適用が見込まれています。これは、年間発生災害のうち、農林省の査定総額と災害関係農家実戸数との関係が、一戸当たり五万円以上となった場合に適用される高率補助で、本町分はまちがいがなくこの適用を受ける見込みです。町費補助関係でまた通知のない地区は、予算の都合で四月以降に補助決定を行います(農林係)

ふるさと

人口一万五千。これが端的に川西の町勢を示す数字であるが、実際に町の人口が一万五千をこえたことはほとんどない。それどころか、最近では人口も世帯も逐次減少の傾向を見せている。▲死亡を上まわる出生の自然増が年間百人以上もあるにもかかわらず、全体として減って行くということは、いうまでもなく人口の大都市集中という全国的現象の例外ではないのだ。この現象が町の発展にプラスするか、またはマイナスとなるかは見方によって異なる。▲限られた包容力しかない町をおとにして、発展の道を町外に求めることは決して町を見捨てることではない。むしろ、町民生活の質的向上をはかるためには、積極的に町自体の家族計画があつてもよい。事実、いなかの実家では旧式ラジオしかないのに、東京へ出た二、三男の家庭ではテレビが普通という状態で、都市と農村の生活水準の違いがはつきり感じられる。▲政府の国民所得増進計画でも、農業については一・三倍にしかならないというが水田の平均経営面積わずか四十五アールという町の現状は、人口をこのままにしておいては、多少の開田ぐらいでこれを理想的規模に引き上げることが不可能だ。結局町民個々の生活の内容をゆきにして町の発展はあり得ない。単純に頭数の増加が繁栄の象徴で、その減少は衰亡のまきざしだ、という紋切り型の論理によって一喜一憂する前に、この数字の示す意味をよく考えようが必要がある。(1)

町議会報告

追加二十一万を議決

焦点は新予算編成方針へ

昭和三十五年第一回町議会は、新年早々の一月十二日に招集された。付議事件は、二十一万円余りというささやかな追加更正予算一件と、請願三件といった程度で、いわば議会開きのものであったが、引きつづいての会員協議会においては、新年度の予算編成方針並びにその審議の手順について町長の方針が提示され、この問題を中心に、財政の基本的なありかたについて検討が行なわれた。

新年度予算の焦点は、何といっても学校建築であるが、すでに本年度一部改築を予定されている橋小学校のほか、上野小学校の屋体建築並びに千手中学校と上野中学校との統合という懸案問題がどのようになされるかによって、予算の組みかた、財政のもちかたが大きく左右されるので、これらの問題について新予算編成までに一応のXドをつける必要に迫られているわけである。

このため、十三日以後も協文・財政合同協議会や、千手、上野地区協議会及び両地区合同協議会を開いて検討をつづけているが、問題が問題だけに、早急に結論を待てることは困難な状況で、結局予算審議のギリギリまで決定はもち越されるものと見られている。

センサスの経費が主体

予算なお一億を越えず

昭和三十四年度第四回目の一般会計追加更正予算として提出された額は、才出三十二万一千二百七十円、才入二十二万一千二百七十円で、差額の十一万円を予備費か

なされる世界農林業センサス並びに農産物流通調査の経費で、これは全額国庫から交付される。この追加によって三十四年度一般会計予算の総額は九千九百七十六万六千六百六十円となった。

請願三件

三件の請願は次のとおりで、いずれも、所管の常任委員会に付託され、継続審査となった。

請願第一号 林道室島線の開設
請願第二号 坪山簡易水道敷設並びに防火用水工事費補助請願。
請願第三号 根深部落防火用水路新設工事に関する請願。

馬場前議長に感謝状

前議長馬場ト禰氏の町村自治発展に寄与された功績に対し、中魚沼郡町村議会議長会長から十一月二十七日付をもって感謝状並びに記念品が贈られ、一月十二日の議会において本人に伝達された。

あたたかい注意の目を

卒業期を控えた家庭へ

学年のしめくりをすする三学期も、あと二カ月で終わります。子どもたちは、進級、進学、卒業就職などで、喜びと期待と、一まつ不安の入りまじった気持ちで学年末の勉強にいそしんでいることとでしょう。

とくに最終学年の生徒は、進学や就職の問題からあせりや不安にかられ、なやみにたえきれず家に出入り自暴など、思いもかけぬ行動に出る例もときにはあるようです。

ようにしてください。

中学生は、生徒の精神も肉體も急速に伸びる時期です。その反面とかくバランスがとれず心の動揺がはげしく、問題の多い時期です。とくに卒業学年の生徒は、進学準備の過労や就職への不安で、いらぬすることもあつていでしょう。それに、必ずしも当人の希望とおりでない場合もあつてありうるのですから、家庭でもよく気を配って、あまり過重な期待や負担をかけすぎないように、あたたかく導いていただきたいと思います。

高等学校の生徒はもうかなり年令もすすみ、理性的にもなつてきていますから、社会生活に適應できる力や自主性、自律性をいっそう高めるように家庭でも考慮していただきたいと思います。

しかし、まだ経験が浅くて、判断にかたよりをまめかれぬ点もあるかと思われまので、常に動静を見守り、話し合いをとおして助言していくようにいたしましょう。中学生の場合もそうですがよくない環境にさらされたり、不良化への誘惑も多い年ごろです。

あたたかい注意の目を忘れないうでください。(教育委員会)

田中君(下)静岡へ

県が研修生で派遣

田中義勝君(橋地区連合青年団長・下原)が、新潟県青年県外研修生に選ばれ、さる六日静岡県(引佐郡浜北町)に出發した。

県教育委員会が本年はじめての事業として、県内の勤労青少年(二十五才未満の男女)二十五名を農業先進地である静岡・神奈川の両県へ派遣するものだが、県内の市町村から推せんされた百数十名のうち、田中君が選ばれて派遣されることになったもの。

ねらいは、社会教育の面から生活・文化・産業などの実習、視察研究、調査をして現地の青年と交友を行ない、これを県下の青年グループにもち帰って、本県の社会教育、産業教育の振興発展に寄与することにある。

戸籍の窓から 1月分

- うぶ声 御すこやかに
平野千枝子 山野田 徳太郎長女
高橋 喜二 齋 孝二 二男
中村千賀子 木 島 義雄 長女
松本 一仁 中屋敷 庚市 長男
高橋 満 伊 友 文一 三男
安里千一郎 中央町 昭一郎二男
南雲 浩 寺 尾 信二 二男
田邊 雅子 高原田 芳松 長女
永井ひろみ 木 落 一市 長女
山家 正子 木 落 清吉 長女
小山 初枝 木 落 賢郎 長女
村越 民子 野 口 辰雄 長女
大久保正義 野 口 勝衛 二男
丸山 宗城 下 原 敏 長男
藤巻 一男 寺ヶ崎 敏志 長男
五十君子 野 口 辰二 三女
小島 了一 新 町 国平 長男
小島千鶴子 新 町 正利 長女
富井 栄一 上 野 勇 長男
渋谷 雅裕 山野田 和 長男
江口 和人 小 白 倉 信男 二男
江口 政子 小 白 倉 政教 長女

- たかさご 御円満に
新 郎 小 幡 成 木 落
新 郎 小 海 圭子 十日町から
新 郎 田 中 忠 下 原
新 婦 高 野 フチ子 三島郡から
昇天 御めい福を祈る
丸山 カト 木 島 八一
井上八重子 神 社 町 六三
敷 藤 サツ 彦 隆 町 七五
相 崎 ミヤ 沖 立 七一
星 名 善 五 郎 山 野 田 七九
戸 田 貞 次 仁 田 八八
佐 藤 マス 仁 田 六五
茂 野 文 平 藤 沢 七九
高 橋 キチ 高 倉 七七
高 橋 正 治 中 仙 田 〇
高 橋 佳 二 大 白 倉 二二

鉛筆をにぎる主婦

新町で「芽ばえ」を発刊

新町婦人会の「芽ばえグループ」が、その名をとって機関誌「芽ばえ」を発刊した。B5版二十六ページ、ガリパン刷りではあるが、りっぱなものだ。暮らしの中からじみでたこの文集は、若いおकाあさんたちの生活記録である。以下、あらましを紹介しよう。



家族の理解や婦人会、部落全体のバックアップがあったからだろう。第一号は一月に発行されたが、農閑期を利用して年三回の発行を予定し、経費は、婦人会助成金(五百円)のほか、残りは会員があつせんしたお茶の収益(手数料)

でまかなわれる。グループの世話役である前婦人会長の若山清子さん(編集人)は、発刊の喜びを次のように語ってくれた。

ともかく第一号を発刊するところができました。部落のみならず、まからご支援をいただいたお陰です。たとえささやかでも「芽ばえ」を通じて、毎日の生活にも明るさが見られるようになりました。何でもよいから思いつきを、と申し合わせたのですが、書くというところに希望がわきます。ゆくゆくは村づくりにまで進展するようにとみんなでハリキッています。

連絡調整を定例会で

100部落の母親たち

いくつかの団体がそれぞれの目標を掲げて、「村づくり」といって山をめぐって登っている。が、動きが活発になるほど仕事も重なり、役員がだぶつたりする。といった悩みが生まれてくるようになり、ついにこれを受け入れるのは、同じ住民のひとりだからである。ところがこれらの問題を解決して、合理的な「村づくり」を推進しようとする立場があつた母親たちがある。〇〇地区の〇〇部落がそれ郡市内にもまだ例のないこういった動きは、これからの「村づくり」に一つの方向を示してくれるだろう。

三年も前から計画されていたがいそがしい主婦という立場で財源もなくガリパンもはじめて、意欲のある人もいざとならためらったりして生み出すまでは苦勞の連続だったようだ。それが発刊にこぎつたのは、自分の書いたものが本になる、という喜びで鉛筆をにぎり、みんなが生きがいを見いだそうとして力を合わせたことだ。

戸数四十一、人口二百八十を数える〇〇はほとんどが農家、毎年の惣代さんを戦前から選挙で決めているほど民主的な部落である。それだけ婦人の活動も活発で、いろいろ問題にははやくぶつかつたともいえる。この部落には、

- ①婦人会(会員数四一)
- ②農協婦人部(全婦人会員が加入、部長は婦人会長と別人)
- ③住み良い

トランジスター時代

(耳の日、三月三日)

「ちかごろは耳の遠い人があつたんだねえ」



目標達成には

独自性を生かして

定例会には、四団体の全会員が部落の公民館に集まって話し合うが、もちろんだぶつている人もある。この日は、四つの団体が動きを全体に伝えるだけではなく、全体の動きから各団体が目標をつかみとるような研究討議が行なわれ、それぞれの団体が仕事を分担し、共同して実践活動を展開できるような対策がねらわれている。

すなわち、①活動状況を報告し合い、それをよく理解する。②共通のもの協力し、一しょにやれる事業には歩調をそろえる。③団体の独自性を生かして、それぞれの立場で目標達成に協力する。④愛児会(〇〇班(会員数一九、若い母親の集まり)があつて、それぞれの立場から仕事をすすめてきた。

村づくりに

総合的な動き

ところが、バラバラに活動していたのでは効果的であらないうことをさとして、毎月七日に「村づくり」のための定例会開催を決めたのである。

適正な就学が目的

教委で健康診断

が原因ですが、年二回以上駆除すれば被害はほとんど皆無だといわれています。町では、本春(雪消前)も実施する予定ですから協力してください。(国保衛生係)

ない。しかしその動きをじつと見ていると、自分たちの位置や役割をハッキリと意識しながら、それぞれの立場で活動していることがよくわかってくるだろう。

このころでは母親たちのこうした動きに、青年やオヤジさんたちが関心をもちはじめた。とくに注目したいのはこれを一つのきっかけとして、この部落にある青年会、農協青年部、愛育会PTA、産業青年部などが同調して、やがては部落をあげて勤けるような体制が確立されるのではなにか。といったことである。

とれたぞ二万六千匹

ねずみ駆除の成果

県下一せいねずみ駆除が終わりました。町では一千九百匹のがいかがあけられ、さらに死んだと推定される数は二万四千匹にのぼっています。このねずみが生きていれば米だけで四百七十万円の被害を受け、一匹のねずみに約二升を食われた計算になります。

おわび

前号で載せた人口の動き

一月一日現在、欄中、「女」とあるを「男」に、「計」とあるを「女」に、「男」とあるを「計」に、それぞれ訂正させていただきます。

田代分校へ本を贈る

数藤姉妹のかくれれた善行

……教育施設に恵まれない冬季分校(田代)の友だちに、二年間も愛の贈本を続けた三人姉妹が、校長先生(樋口晋七 上野中学校長)から感謝状を贈られた。……

この感心な姉妹は、町教育委員会に勤務する数藤三三さん(末島町)の長女聡子さん(千手小六年)・二女宏子ちゃん(同四年)三女恭子ちゃん(同一年)の三人で、贈本の動機には次のエピソードがあった。



喜びの数藤姉妹
右から、宏子ちゃん、聡子さん、恭子ちゃん

校長先生から感謝状

こうして三十三年の暮に四十冊三十四年には六十冊、マンガなどを合わせて百冊あまりの本を寄贈してくれたのである。これを知った上野小中学校(小学校長は種村清作氏)が、数藤姉妹のかくれれた善行にすっかり感激、さる十二日樋口中学校長の名で感謝状を贈った。もちろん田代分校では心のこもった贈り物に大喜び、高橋義正先生はじめ、学童たちから感謝の礼状がよせられている。

この善行について樋口校長は「だれにもできそうなやさしいことは、だれもやりにくいものでも数藤さん姉妹が二年もの長い間黙って親切な行ないを続けてくれたことはほんとうに良いことです。分校の生徒といっしょに感謝しています。」と語ってくれ、聡子さん姉妹は、「こんなに喜んでもらってほんとうにうれしい……これからも輝かせています。」と、明るいひとみを輝かせていた。

テレビにおもう

あちこちにテレビのアンテナがながめられ、めざましい科学技術の発達に驚いています。ところでテレビは正しい方法で見られているのでしょうか。視聴者の方々は案外無関心でいるようです。

アメリカのある医師が「子どもの歯並びが悪くなった」というデータを示して、原因はテレビの見かたにある。と結論した話は有名です。子どもは母親が動物園のオリの前で、「うちの子どもたちが、テレビでまた見たことのない動物

町の声

はいないの？」と、係員にたずねているマンガがありました。

こんな結果をある評論家は、「われわれは見たものと体験したものとの区別を失ってしまふ……」と書いておられます。つまり、見たものは知ったものかと思いつくほどほんとうの知識を得ようとはしない。ということのようです。

機械文明の発達した今日、わたしたちの肉体的な運動はいたって少なくなりました。しかし、精神的な運動は昔と比較にならないほどはげしいのです。とくに子どもは、眠っていないながらもテレビで覚えたコマシヤルを口にする。といったので、一日としてゆっ

嘱託員さままる

仙田は三月に改選

嘱託員のほとんどが決まった。こんご一カ年間にわたって町政の執行に協力し、区長さん総代さんとして親しまれながら、それぞれ地域で自治の運営に貢献してくるわけである。

千手(木島・沖立・高原田は未定)と樋口では一月に、上野(原・田代は未定)では二月に、部落や町内から選任されて届け出があったが、仙田地区では大倉をのぞくと三月になる見込み。したがって町長が毎年交付する委嘱状は全部が出そろってからになる。

新しい嘱託員(十日現在)は次のとおり。

千手
◎中島町・横山徳蔵◎山野田・北

仙田
◎大倉・中条幸一郎

上野
◎上野・富井正治◎新町新田・渡買軍治◎元町・押木増雄◎下平新田・小川清次◎三領・水品正一郎

庁内めぐり (14)

高橋英雄氏(学校町)は研究心が旺盛、同僚にいわれると「頭が良くてツメをかくさない文化人」と評する。よく学びソツがないからとの係にも向く型だろう。全集ものを読破した文学青年だが、TUM(十日町混成合唱団)できたえたノドで、民謡やポピュラーものをかかせてくれる。

小林幸子さん(中屋敷)はユーモアに富む半面さみしがりや、花嫁姿のよくにあった人だ。徴収簿の整理を確実に行ってくれるが、毎日どこかにはおえぬ窓口ではあっても、納税者から見るとかわい女のオニに見えることがあるという。けに敬愛すべき、かくもせつないものがある。

田村文氏(鶴吉)は催促回りから内勤に代わった。今どきの青年にはめずらしいウエット型で、目下勉強中の努力家とのこと。すなわちいやみがなく、ハンサムでハニカミ屋なこの人は「男なら夢を見る」といった感じを与える。将来を期待できる人物のひとり。

大澤幸子さん(おたに)は「上野」はスポーンマン、高校二年のとき、インターハイの県選手(円盤投げ)で一位になった人だ。クラスメートにいわれると家庭的、母性愛のような何かかひきつけずにはおかないという。才たけて仕事もよくできる。

清水秋子さん(下平新田)は明るく快活な娘。健康でよく働くソツカリ者で、ドライとウエットの中間をゆく人なつっこさがだけれども好かれる。高校二年に在学中で学習意欲にも、仕事も確実にやってくる。こんな人をご雇村の嫁にほしいものだ。

税務係の巻 その三

役場に電話(千手四十四番)が増設されました。議会事務局と税務係の専用です。

四番(教委・農委・農林・社会・土木・商工・土地改良区の専用)が話し中の場合には、ご利用くださったってもしつかえありません。

モシモシを増設

村直次◎発電所通り・相崎正平◎永公西◎児玉栄重◎永公東◎荒海広喜◎下平◎田中太郎◎四郎兼新保仁◎東善寺◎高橋富士雄◎上町◎大溪不二男◎中央町◎小林仁作◎田中◎小海和男◎神社町高橋精吉◎学校町◎五十川庄平◎中屋敷◎松本庚市◎寺尾◎南雲好信◎木島公舎◎宮◎徳一◎伊友◎黒島豊◎坪山◎中村直治◎稲条◎蔵品利平◎鶴吉◎田村重則◎平見市川彦平

